



**2018 年度
交換留学（派遣）ガイドブック**

横浜国立大学 経営学部

目次

1) 学部長、関係委員メッセージ	page.3
2) 交流協定締結大学	page.5
3) 留学の種類について	page.6
4) 応募資格、基準	page.7
5) 現地でかかった費用	page.9
6) 2017年度交換留学（派遣）対象大学一覧	page.16
7) 経営学部派遣学生 留学体験記	page.23
8) 経営学部主催英語討論（ベトナム、豪州）	page.28
9) 交換留学質問コーナー	page.29
10) スケジュール全体像	page.31

1) 学部長、関係委員メッセージ

学部長メッセージ

是非、海外交流締結大学への留学にチャレンジしてください。外国語で経営学を学ぶ、派遣先の授業料は不要、派遣先の単位を本学の単位として認定可能、留学期間は本学の在学期間に算入可能、などメリットはたくさんあります。何よりも、旅行ではなく海外生活によって、海外から日本を見つめる、外国人になるといった人生観が変わるような貴重な経験ができます。私も 2011 年度に渡英しましたが、40 代の半年間では遅く、短すぎました。学生時代に 1 年間がおすすめです。人生の中で貴重な 1 年になると思います。



原 俊雄先生

学部長補佐（グローバル戦略）メッセージ

私たち横浜国大、特に経営学部は、交換留学を中心とする国際交流をととても大切に思っています。今日の暮らしやすく誇るべき日本が築き上げられたのは、多くの日本人が海外に出かけて行って国際交流に一生懸命励んだお陰だと言えらると思います。同時に日本人と外国人との交流に互いに積極的になったことで、日本の良さが世界に知られるようになりました。明治維新の頃の日本人が、どれだけ大変な苦勞をして海外に出かけて行ったかを考えると、留学制度が十分に整備されている今は、素晴らしい追い風があるように思います。21 世紀においても日本と世界が深い交流を続けることで双方が受ける恩恵は計り知れないでしょう。学生の皆さんは若さを活かし、堂々と海外に出て行ってほしいと思います。私たち経営学部はできる限りの応援をします。ぜひ、チャレンジしてみてください。



ダニエル・ヘラー先生

国際交流委員長メッセージ

経営学部は、本学が目指すグローバル新時代にふさわしい日本人学生の育成を行うために、英語による専門科目、英語力強化特別講座、海外インターンシップ、海外短期派遣プログラムの拡充に取り組み、国際的な教育研究環境の質的な向上を図っています。ぜひ、この恵まれた環境を積極的に活用して学び、交換留学制度による留学を実現してください。皆さんが、これまでの環境や自分自身を見つめ直し、多様な視点や価値観を理解し、批判的に思考できる力を身につけ、将来グローバルな環境で活躍できるビジネスパーソンとなることを期待します。



田名部 元成先生

留学生担当教員メッセージ

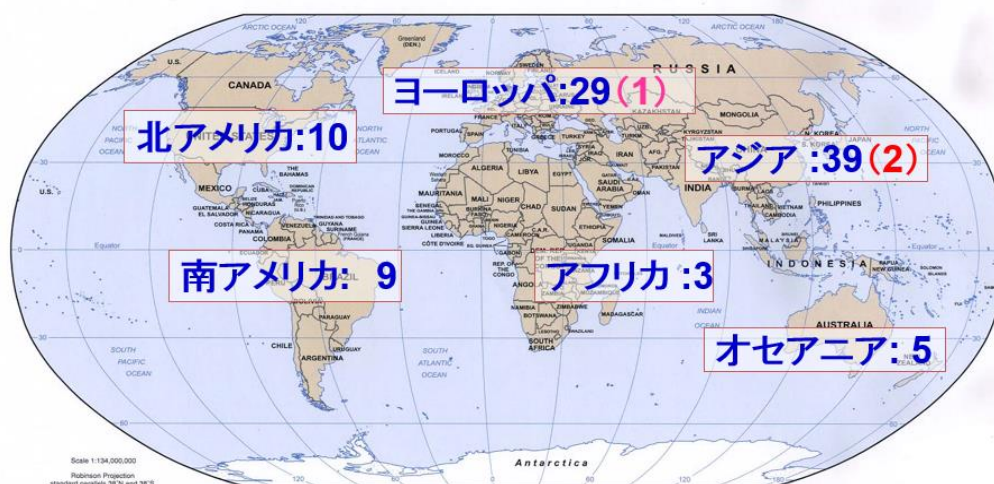
経営学部・留学生担当教員の石田 満恵です。
交換留学のアドバイザーとして、皆さんの将来のビジョンや実現したい夢についてお話を聞きながら、交換留学実現に向けてサポートさせていただきます。
経営学部では学部主催の「TOEFL 集中講座」や、海外で活躍しているビジネスパーソンをお招きして英語で行う「アジアグローバル経営基礎」講義等、皆さんの交換留学実現に向け盤石なサポート体制を整えています。これまでに交換留学を実現した経営学部生は、卒業後、国際的なビジネスシーンで活躍をしています。まずは皆さんの将来のビジョンについて話を聞かせてください。そして、一緒に夢を実現して参りましょう。



石田 満恵先生

2) 交流協定締結大学 経営学部・部局間協定大学

～STUDY ABROAD～ 世界が活躍の舞台になる



全学部生対象・交換留学相手先大学 36か国95校 (2017.4月現在)
経営学部生のみ対象・交換留学相手先大学 3か国3校 (2017.4月現在)

アジア

インドネシア、韓国、タイ、台湾、中国、
トルコ、フィリピン、ベトナム、マレーシア、
モンゴル、キルギス、バングラディッシュ、
シンガポール、ミャンマー

中南米

メキシコ、パラグアイ、ブラジル
コロンビア

オセアニア

オーストラリア
ニュージーランド

ヨーロッパ

イギリス、イタリア、スイス、
スペイン、チェコ、ドイツ、
ハンガリー、フィンランド、
フランス、ベルギー、マルタ、
スウェーデン、ロシア、オランダ、
ポルトガル

アフリカ

エジプト
ケニア
マダカスカル

北アメリカ

アメリカ合衆国
カナダ

3) 留学の種類について

横浜国立大学における留学には、「学生交流協定締結大学への交換留学（派遣）」と「休学による留学」があります。通常、夏季休暇中などに、1ヶ月程度、語学の勉強に行く事は語学研修となり、交換留学（派遣）には含まれません。

1. 学生交流協定締結大学への交換留学（派遣）

学生交流協定締結大学への交換留学（派遣）とは、本学と学生交流協定を結んでいる海外の大学へ3ヶ月以上1年以内留学することで交換留学とも呼ばれています。学生交流協定締結大学は、2017年4月現在36ヶ国95大学で協定により交換人数が定められています。協定大学への交換留学（派遣）には次のようなメリットがあります。

本学に在籍したまま留学可能。休学の必要なし

授業料は本学に納入。派遣先大学の授業料免除。

単位互換制度（経営学部は教養＋専門30単位まで）

各種奨学金（横浜国大奨励費、貸与型奨学金等）サポート有。

留学中の安全管理として、24時間日本語対応危機管理サービスを準備。全派遣生が加入。

学部専任の留学担当教員がきめ細やかなサポート。（各種相談、毎月報告書のフィードバック等。）

2. 休学による留学（協定校以外への留学：休学の手続きは各学部等で受付）

休学して海外で勉強する場合、本学の協定校の枠にとらわれず、各自希望する大学等を選択できますが、入学に関する諸手続き等はすべて各自で行います。また、留学期間は本学の在学期間に算入されず、本学での卒業又は修了が遅れる可能性があります。留学中（休学中）は本学への授業料は免除され、留学先大学等に支払います。休学を行う際は留学先及び留学の内容を申請のうえで許可を受け、休学の手続きをすることとなります。その内容によっては帰国後に単位互換を申請できる可能性もありますので、必ず事前に各学部等学務担当係にお問い合わせ下さい。

3. 経営学部英語討論・語学研修

夏季休暇等の長期休暇を利用して1週間～1か月ほど語学研修等に行く場合には、各自でプログラムを選定し申し込みを行います。経営学部英語討論は学務係、語学研修は留学交流係窓口へお問い合わせ下さい。

4) 応募資格、基準

① 語学力：英語圏 TOEFL iBT70 以上（IELTS5.5 以上）。
その他言語：資格検定、本学での第二外国語の成績など。

② 大学の成績：GPA3.0 以上。
成績が良いと奨学金が支給されるチャンスも。

③ 指導教員の許可：ゼミの指導教員の許可を得ている事。

④ 面接：英語、日本語（※韓国や中国等、現地の言語での面接を必要とするケースも有）

面接時に下記応募資格を満たしているか評価を行います。

- (1) 学業が優秀で、人物等に優れている者。
- (2) 留学の目的及び計画が明確で、留学による効果が期待できる者。
- (3) 留学期間終了後、横浜国立大学に戻り、学業を継続する者または本学の学位を取得する者。
- (4) 派遣先大学所在国への留学に必要なビザを確実に取得し得る者。
- (5) 英語圏大学希望者は TOEFL iBT もしくは IELTS の有効なスコアを有すること。また、非英語圏の大学希望者は各言語の語学検定試験結果等を有すること。
- (6) 応募時の通算 GPA を 3.0 以上とする。(3.25 以上が望ましい)
- (7) 応募時に保護者の同意書も提出する。(※交換留学派遣同意書)
- (8) 内定後の辞退並びに行き先変更は、原則として認めない。(※正式派遣確定は、派遣先大学の留学許可を得た時点となる。)
- (9) (平成 28 年度以前の入学者) 3,4 年生の応募者に関しては、渡航前に学部並びに学科必修科目を修得済（または修得見込）とする。
(平成 29 年度以降の入学者) 3,4 年生の応募者に関しては、渡航前に学部教育科目の必修科目を修得済とする。

交換留学（派遣）についての情報

協定大学への留学情報は下記本学の公式サイトから取得できます。

横浜国大公式ウェブ・サイト <http://www.ynu.ac.jp/>

=> 「在学生の方」 =>国際交流・留学「海外留学制度」 => 「海外留学をお考えの方」 => 「海外留学制度」

経営学部・交換留学（派遣）に関する問合せ先

留学担当教員：石田 満恵

ishida-mitsue-mb@ynu.ac.jp

全学・交換留学（派遣）に関する問合せ先

学務・国際部 国際教育課 留学交流係

TEL：045-339-3183, mailto: kokusai.ryugaku@ynu.ac.jp

5) 現地でかかった費用

交換留学中に現地でかかった費用をまとめています。

サンノゼ州立大学（北米）

留学時のレート (大体)	(外貨)	\$1=120円	
毎月の留学経費			
費目		金額	通貨
住居	住居		
	寮（食事付・週5日）	1,500	\$
	・その他（ ））		
	食費	寮費に含まれる	
	光熱水費	寮費に含まれる	
交通	交通費	なし	
	※できる範囲で内容を記入してください。		
	教育・娯楽費(主に土日の食事代)	10,000	円
	雑費		
その他	その他必要経費		
合計		190,000	円
派遣先と日本の生活費を比較した感想			
<p>教科書がとても高いので、中古品を買うことをお勧めします。また、寮費には休暇(冬休みの約2ヶ月)の分が含まれていません。ただし、旅行などで部屋を空ける場合は支払わなくて大丈夫です。特にサンノゼは物価が高いので、寮費がとても高くなっています。私が一番お金を使ったのは旅行だと思います。アメリカは基本的に物価が高いし、飛行機での移動が主なので、お金はかなりかかってしまいました。</p>			

ベラミン大学（北米）

留学時のレート (大体)	(外貨) 1ドル = 125 円		
毎月の留学経費			
費目		金額	通貨
住居	住居 ※下記住居タイプを選択してください。	(寮) 945	USD
	寮 (食事付)	(ミールプラン) 528	USD
	食費		
	光熱水費		
交通	交通費 ※できる範囲で内容を記入してください。		
	教育・娯楽費	130	USD
	雑費		
その他	その他必要経費 ※留学先で加入した保険、健康保険等。できれば、 内容毎に記入してください。		
合計		1603	USD
派遣先と日本の生活費を比較した感想			
基本的に日本よりも割高な印象を受けた。特に寮費とミールプランが非常に高かった。			

サンディエゴ州立大学（北米）

留学時のレート (大体)	(外貨) \$1 = 120 円		
毎月の留学経費			
費目		金額	通貨
住居	住居 ※下記住居タイプを選択してください。		
	(タイプ: 寮 (食事付・食事無)・アパート ・その他 ())	985	\$
	食費		
	光熱水費		
交通	交通費 ※できる範囲で内容を記入してください。	100	\$
	教育・娯楽費	700	\$
	雑費	15	\$
その他	その他必要経費 ※留学先で加入した保険、健康保険等。できれば、 内容毎に記入してください。		
合計		1800	\$
派遣先と日本の生活費を比較した感想			
食品はアメリカが割高だと思います。			

ロジャーウィリアムス大学 (北米)

留学時のレート (大体)	(外貨) アメリカドル= 約120円		
毎月の留学経費			
費目		金額	通貨
住居	住居 タイプ: 寮 (食事付)	1,800	USD
	食費	50	USD
	光熱水費	0	
交通	交通費	20	
	教育・娯楽費	700	USD
	雑費	50	USD
その他	その他必要経費		
	携帯電話 (プリペイド)	35	USD
合計		2,655	USD
派遣先と日本の生活費を比較した感想			
<p>日本では実家暮らしのため、生活費にあまり気を配ってないが、寮代の高さは明らかである。また、期限付きであることもあり、娯楽費が結構かかった。この書類を書くため、いくら使ったかを初めてしっかり考えた結果、旅行費を引いても260万円以上かかっていたことを知った。(もちろん日本で8か月生活していても、食費はどうせかかるのだが) 日本での食費をひと月2万円と仮定して、あえて食費を抜いた合計を出してみると、245万円ぐらいだろうか。</p>			

オスナブリュック大学 (ドイツ)

留学時のレート (大体)	(外貨) 1ユーロ = 120円		
毎月の留学経費			
費目		金額	通貨
住居	住居 (タイプ: 寮 (食事付・食事無)・アパート)	210	€
	食費	100	€
	光熱水費	15	€
交通	交通費	0	€
	教育・娯楽費	400	€
	雑費		
その他	その他必要経費		
	礼金 (寮)	10	€
	保証金 (寮)	40	€
	セメスター費	50	€
	健康保険	80	€
合計		905	ユーロ
派遣先と日本の生活費を比較した感想			
<p>日本ではアパートを借りていたためはっきりとした比較はできないが住居費は、日本での生活に比べあまりかからなかった。光熱水費もルームメイトと折半のため低額で抑えられる。その点では暮らしやすかった。ただ、留学にあたり留学保険費、現地での健康保険費、旅費がプラスでかかるため、全体を通してみた場合派遣先での経費の方が多くなる。留学向けの奨学金が得られなかった場合、相当経済的に苦しかったはず。</p>			

リヨン第三大学（フランス）

留学時のレート (大体)	(外貨)	1ユーロ	=	132	円			
毎月の留学経費								
費目						金額	通貨	
住居	住居							
	タイプ： アパート					525	ユーロ	
	食費					250	ユーロ	
	光熱水費					約75	ユーロ	
交通	交通費 1年間定期を初月に購入（約310ユーロ）							
	※できる範囲で内容を記入してください。							
	教育・娯楽費					50	ユーロ	
	旅費					200	ユーロ	
合計						1100	ユーロ	
派遣先と日本の生活費を比較した感想								
光熱費、家賃は日本と比較して安いですが食料品の物価はさして変わらない印象でした。外食は高くても少ないのでなるべく家で食べるようにしていました。								

セントイシュトバーン大学（ハンガリー）

留学時のレート (大体)	(外貨)	100HUF	=	45	円			
毎月の留学経費								
費目						金額	通貨	
住居	住居							
	※下記住居タイプを選択してください。							
	(タイプ： 寮（食事無）					45000	HUF	
	・ その他（							
	食費					30000	HUF	
	光熱水費					寮費込		
交通	交通費					5000	HUF	
	※できる範囲で内容を記入してください。							
	教育・娯楽費					20000	HUF	
	雑費							
その他	その他必要経費							
	※留学先で加入した保険、健康保険等。できれば、内容毎に記入してください。							
合計						100000	HUF	
派遣先と日本の生活費を比較した感想								
生活費のみならば日本と比べかなり安く済ませることが出来た。食材や電車賃などが特に安いので、日本と同水準の生活でも自炊をすればかなり抑えられる。一方で外食は日本と変わらないくらいの値段なので、注意が必要。								

エジンバラ大学（イギリス）

留学時のレート (大体)	(外貨) 1 ポンド = 190 円		
毎月の留学経費			
費目		金額	通貨
住居	住居 ※下記住居タイプを選択してください。 (タイプ: 寮・食事無)	650	ポンド
	食費	200	ポンド
	光熱水費	(なし)	
交通	交通費 ※できる範囲で内容を記入してください。 自習用の参考書など	40	ポンド
	娯楽費(月1回国内旅行に行った場合)	100	ポンド
	雑費		
その他	その他必要経費 携帯電話代(SIMカードのみ)	7.5	ポンド
	合計	1020	ポンド
派遣先と日本の生活費を比較した感想			
<p>日本で100円を使う感覚が、英国で1ポンドを使う感覚に近い。留学当初は1ポンド=190円という高いレートで推移していたため、すべての物価が高く感じた。奨学金を支給されていないとかなり厳しい状況だったと思う。現在では1ポンド=150円ほどで推移しているため、今年から英国に留学する学生にとってはそれほど高く感じないかもしれない。</p> <p>ポンドという通貨は非常に変動幅が大きい通貨であり、例えばリーマンショック前後では240円から120円まで値を下げていた。現在も、Brexitやスコットランド独立などの様々な懸念事項があるため今後も大きな変動を続けていくと予測されている。従って、留学開始時にポンドを一気に買ってしまおうべきか、それとも必要な分だけ少しずつナンピン買いすべきかを考えておいたほうが良い。私は後者のやり方を選択したが結果的には正解だった。</p>			

ヴェネチア・カ・フォスカリ大学（イタリア）

留学時のレート (大体)	(外貨) 1ユーロ = 約 130 円		
毎月の留学経費			
費目		金額	通貨
住居	住居 ※下記住居タイプを選択してください。 (タイプ: 寮(食事無))	320	ユーロ
	食費	300	ユーロ
	光熱水費	なし	
交通	交通費 ※できる範囲で内容を記入してください。	50	ユーロ
	教育・娯楽費	100~200	ユーロ
	雑費	100~200	ユーロ
その他	その他必要経費(初回のみ)		
	住民カード	150	ユーロ
	教材	100	ユーロ
	保険料	50	ユーロ
合計(初回のみを除いて)		約1000	ユーロ
派遣先と日本の生活費を比較した感想			
<p>全ての面において、ヴェネチアはイタリアでも最も物価が高く、日本の東京以上だといえる。住居などはルームメイトを探してアパートを借りると少し安くなるが、まだまだ高い。食費は果物や野菜など以外は全部日本より高い。</p>			

オーストラリア国立大学（オーストラリア）

留学時のレート (大体)	(外貨) \$1 = 80 円
-----------------	-----------------

毎月の留学経費 ※月額で記入してください。

費目		金額	通貨
住居	住居 (タイプ: 寮 (食事無))	¥65,600	\$ 820
	食費	¥20,000	\$ 250
	光熱水費		\$ 0
交通	交通費	¥1,200	\$ 15
	教育・娯楽費	¥8,000	\$ 100
	雑費	¥5,200	\$ 65
その他	その他必要経費		
合計		¥100,000	

派遣先と日本の生活費を比較した感想

日本では実家に暮らしているため、正確に比較することはできませんが、物価は東京と同じ位か少し安い印象です。そのため、生活の費用の面から暮らしにくさを感じたことはありませんでした。

シドニー工科大学（オーストラリア）

留学時のレート (大体)	(外貨) \$1 = 80 円
-----------------	-----------------

毎月の留学経費 ※月額で記入してください。

費目		金額	通貨
住居	住居 (タイプ: 寮 (食事無))	\$1,184	AUD
	食費	\$400	AUD
	光熱水費		
交通	交通費 ※できる範囲で内容を記入してください。	\$50	AUD
	教育・娯楽費	\$200	AUD
	雑費		
その他	その他必要経費		
合計		1,834	AUD

(1AUD=80円の場合、147,000円)

派遣先と日本の生活費を比較した感想

為替レートにもよるが、日本よりわずかに高い。特にレストランでの外食が高い。寮費は立地とシステムが充実していたせいで一般的な住居費に比べるとかなり高い。スーパーでの買い物は現地のスーパーであれば日本よりも安いものも多いが、日本やアジア系の食材はやはり高い。交通費（バス、電車）は1週間に一定以上乗ると割引がきいたり、日曜日はいくら乗っても\$2.5だったり、かなり良心的だと感じた（International student は学割がきかないが）

国立台湾大学（台湾）

留学時のレート (大体)	(外貨) 1TWD = 3.5 円		
毎月の留学経費			
費目		金額	通貨
住居	住居 (タイプ: アパート)	18000	TWD
	食費	4000	TWD
	光熱水費	3000	TWD
交通	交通費 ※できる範囲で内容を記入してください。	1000	TWD
	教育・娯楽費	4000	TWD
	雑費	2000	TWD
その他	その他必要経費		
	毎月携帯電話料金使い放題	500	TWD
合計		32500	TWD
派遣先と日本の生活費を比較した感想			
食費、飲料、交通費などは安く抑えることが出来ると感じたものの、一方で家賃などは日本と変わらないくらい水準で、生活用品なども日本より割高と感じられた。アルバイトの時給平均が大体400円弱と低所得体質の台湾でありながら、物価は決してとても安いというわけではないと感じられた。			

ウタラマレーシア大学

留学時のレート (大体)	(外貨) 1マレーシアリングギット = 30 円
-----------------	--------------------------

毎月の留学経費 ※月額で記入してください。

費目		金額	通貨
住居	住居 ※下記住居タイプを選択してください。 (タイプ: 寮 (食事付・食事無)・アパート ・その他())	0	RM
	食費	600	RM
	光熱水費	0	RM
交通	交通費 ※できる範囲で内容を記入してください。 外出時の車での移動費	300	RM
	教育・娯楽費	400	RM
	雑費	300	RM
	その他必要経費 ※留学先で加入した保険、健康保険等。できれば、 内容毎に記入してください。	0	RM
合計		1,600	RM

(約5万円)

派遣先と日本の生活費を比較した感想	
生活費のみで考えるとマレーシアの方が格段に安いが、旅行などに頻繁に出かけると出費が多くなる。一般の寮を選択したため寮費が0円だったのが非常にありがたかった。	

6) 2017年度交換留学（派遣）対象大学一覧 ※2018年度版は2018年秋頃更新予定

※語学要件・入学要件、アカデミックスケジュール、入学願書締め切りは予告なく変更される
可能性があるため、最新情報は各自で各大学のウェブサイト等にて確認してください。

	国名	協定大学名	交換 人数	要件	セメスタ ー開始月	申請 締切	備考
1	インド	インド工科大学マ ドラス校	1				
2	インドネシ ア	ランブン大学	1		9月		
3	インドネシ ア	バントン工科大学	1		9月		
4	韓国	高麗大学院	1	英語、韓国語	3月		
5	韓国	淑明女子大学校	3	韓国語もしくは TOEFL iBT79(英語 プログラム)	3月 (9月)	12/31 (6/30)	
6	韓国	嶺南大学校	3	韓国語もしくは英語プログラムの 場合は学内派遣基準スコア	2月 (9月)	11月第二 週目(4月 第二週目)	
7	韓国	京畿大学校	3	韓国語もしくは英語プログラムの 場合は学内派遣基準スコア	2月 (9月)		
8	韓国	延世大学校	1	iBT79以上。IELTS6.0以上。 GPA2.5/4.0。	2月		
9	韓国	釜慶大学校	3	なし(ただし推薦には原則韓国語 もしくは英語プログラムの場合は 学内派遣基準スコアが必要)	3月 (9月)	1月下旬 6月下旬	
10	韓国	東亜大学校	2	1年以上の韓国語履修		11月20 日	授業はすべて韓国語
11	タイ	タマサート大学	1		6月		
12	台湾	国立高雄大学	2	中国語	9月	5月31日	一学期 3000 台湾ド ル、1年 5000 台湾ド ルの administration fee を支払う必要があ る
13	台湾	国立台湾大学	2	中国語もしくは英語 B1 程度 (HSK3 級、TOEFL iBT78, IELTS5.0 程度。 (ただし推薦には原則学内派遣基 準スコアが必要)	9月 (2月)	3月31日 (9月 30)	台湾国籍のみの者は 申請不可

	国名	協定大学名	交換人数	要件	Semester 一開始月	申請 締切	備考
14	台湾	国立精華大学	2	中国語（中国語コースは初級者も可能）	9月		
15	台湾	国立政治大学	2	中国語（TOCFL Superior/HSK 4級/CEFR B2）英語コース（TOEFL iBT79/IELTS6.0）（ただし推薦には原則学内派遣基準スコアが必要）	8月 (2月)	4月20日 (10月20)	GPA2.5/4.0以上
16	中国	上海交通大学	2		9月	4月30日	
17	中国	北京師範大学	5	中国語での専門課程：HSK6級以上（旧試験）もしくはHSK5級以上（前試験）それ以下は中国語学課程のみ 英語プログラム：TOEFL iBT80/IELTS6.0	9月	5月15日	中国籍の者は推薦不可 GPA平均80/100以上
18	中国	華東師範大学	3	専門課程は新HSK5級以上、それ以下は中国語語学研修生	9月	5月15日	GPA3.0/4.0以上 語学研修有（無料）
19	中国	山西大学	3		8月	5月20日	
20	中国	天津大学	2	英語、中国語	9月		
21	中国	大連理工大学	2		9月	5月20日	
22	中国	対外経済貿易大学	2		9月		
23	中国	中山大学	2	なし（ただし推薦には原則中国語もしくは英語プログラムの場合は学内派遣基準スコアが必要）	9月	5月1日	
24	中国	山東大学	1	なし（ただし推薦には原則中国語もしくは英語プログラムの場合は学内派遣基準スコアが必要）	2月	11月30日	
25	中国	同済大学	1	英語、中国語	9月		
26	中国	吉林大学	1	英語（大学院）、学部：HSK5級以上	8月		
27	中国	外交学院	1				
28	トルコ	イスタンブール工科大学	1		10月		
29	トルコ	オージイン大学	1	学部生 TOEFL iBT 80/IELTS6.5, 大学院生 TOEFL iBT83	9月	7月15日	英語での授業（法学部を除く）
30	フィリピン	サント・トマス大学	1		8月		

	国名	協定大学名	交換 人数	要件	セメスタ ー開始月	申請 締切	備考
31	フィリピン	フィリピン大学	1	iBT61 以上、IELTS6.0 以上。	8 月		
32	ベトナム	ホーチミン市工科大学	1		8 月		
33	ベトナム	ハノイ貿易大学	2		8 月		
34	マレーシア	マラヤ大学	2	TOEFL iBT80/IELTS6.0	9 月	4 月 30 日	2 年次以上 GPA3.0 以上
35	マレーシア	ウタラ・マレーシア大学	2	TOEFL iBT59/IELTS5.5(ただし推薦には原則学内派遣基準スコアが必要)	9 月	7 月 1 日	
36	モンゴル	新モンゴル工科大学	1	iBT80 以上。			
37	モンゴル	モンゴル科学技術大学	1				
38	エジプト	カイロ大学	2	アラビア後	9 月		申請希望者は要相談
39	マダカスカル	アンタナナリボ大学	1	フランス語	10 月		申請希望者は要相談
40	オーストラリア	オーストラリア国立大学	3	TOEFL iBT80 (R20, W20, S18, L18)/IELTS6.5 (各 6.0 以上)	2 月	9 月 1 日	
41	オーストラリア	シドニー工科大学	2	Engineering & IT: TOEFL iBT60-78 (W21)/IELTS6.0 (W6.0), Most programs: TOEFL iBT79-93 (W21)/IELTS6.5 (W6.0) (ただし選考には原則学内派遣基準スコアが必要)	3 月	11 月 30 日	2 年次以上、GPA2.5/4.0 TOEFL iBT35/IELTS5.0(各 5.0)以上で Australian Language and Culture program に参加可(ただし正規課程留学希望者を優先する)
42	オーストラリア	マッコーリ大学	3	TOEFL iBT83 (R18, W12, S21, L13)/IELTS6.5 (各 6.0 以上), GPA2.5/4.0 以上	2 月	10 月 30 日	
43	ニュージーランド	オタゴ大学	1	TOEFL iBT80 (W20)/IELTS6.0(各 6.0 以上)	2 月	10 月 1 日	

	国名	協定大学名	交換人数	要件	Semester 一開始月	申請 締切	備考
44	ニュージーランド	AIC クライストチャーチ工科大学 (クライストチャーチ・ポリテクニク工科大学)	1	iBT70 以上、IELTS6.0 以上	2月		
45	アメリカ合衆国	サンディエゴ州立大学	4	TOEFL iBT80/IELTS6.5, GPA2.5/4.0 以上	8月	4月1日	GPA2.5 以上 (学部)、 GPA3.0 以上 (大学院)
46	アメリカ合衆国	ジョージア大学	2	TOEFL iBT80/IELTS6.5 以上	8月		
47	アメリカ合衆国	カリフォルニア州立大学サクラメント校	2	TOEFL iBT64/IELTS6.5 以上、 GPA2.4/4.0 以上	8月		
48	アメリカ合衆国	ユタ州立大学	1	TOEFL iBT71/IELTS6.0 以上	8月		
49	アメリカ合衆国	サンノゼ州立大学	2	TOEFL iBT61/IELTS6.0 以上、 GPA2.75/4.0 以上	8月		
50	アメリカ合衆国	ウェスタンワシントン大学	3	TOEFL iBT80/IELTS6.5 以上、	9月		
51	カナダ	サスカチュワン大学	1	TOEFL iBT80/IELTS6.5 以上、	9月		
52	カナダ	モントリオール工科大学	1	フランス語、TFI785 以上、 GPA2.5/4.0	8月		
53	メキシコ	メキシコ自治工科大学院	1	スペイン語	1月		
54	コロンビア	コロンビア国立大学	1	スペイン語	2月		
55	パラグアイ	アスシオン国立大学	1	スペイン語、 GPA3.0/5.0 以上	2月	11月	
56	パラグアイ	カアグアス国立大学	1	スペイン語	2月		
57	パラグアイ	ニホンガッコウ大学	1	スペイン語			

	国名	協定大学名	交換人数	要件	セメスター開始月	申請締切	備考
58	ブラジル	サンパウロ大学	3	ポルトガル語	2月	5月5日	
59	ブラジル	パラナ・カトリカ大学	1	なし（ただし推薦には原則ポルトガル語もしくは原則学内派遣基準スコアが必要）	2月	10月15日	留学開始までに少なくとも1学期間ポルトガル語の受講があることが望ましい
60	ブラジル	ベルナンフコ連邦大学	2	ポルトガル語	2月		
61	ブラジル	カンピナース大学	1		2月		
62	イギリス	カーディフ大学	5	経営学部 IELTS6.5（各5.5）、外国語学部 IELTS6.0（各5.5）、 GPA:3.0/4.0以上	9月	6月30日	GPA3.0/4.0以上
63	イギリス	シェフィールド大学	5	専攻による 例) Economics であれば IELTS6.5（W6.0, その他5.5）	9月	5月1日	GPA3.0/4.0以上
64	イギリス	ノッティンガム・トレント大学	1	経営学部 IELTS6.5（各5.5）、	9月		
65	イギリス	エジンバラ大学	1	IELTS6.5（各5.5）、 GPA:3.0/4.0以上	9月	7月1日	学部生のみ対象 GPA3.0/4.0以上
66	イギリス	イーストアングリア大学	2	IELTS6.5、ただし言語・コミュニケーション学科であれば IELTS6.0、GPA:3.0/4.0以上	9月	4月30日	GPA3.0/4.0以上
67	イタリア	ピサ大学	1		9月		
68	イタリア	ヴェネチア・カ・フォスカリ大学	2	英語（iBT72以上、IELTS5.5以上）およびイタリア語B1程度（ただし推薦には原則学内派遣基準スコアが必要）	9月	4月30日	
69	イタリア	ミラノ大学	2	なし（（ただし推薦にはイタリア語、英語プログラムの場合は原則学内派遣基準スコアが必要）	9月	7月12日	英語コースはないが、英語で履修できる授業有
70	スイス	ベルン大学	1	ドイツ語又は英語いずれもB2（ただし英語プログラムへの推薦の場合は原則学内派遣基準スコアが必要）	9月	4月30日	英語での授業は修士レベルが中心。ドイツ語準備コース有（無料、A2レベルが必要）

	国名	協定大学名	交換人数	要件	セメスタ ー開始月	申請 締切	備考
71	スペイン	グラナダ大学	2	スペイン語	9月	4月28日	中級(4級)程度あることが望ましい。大学併設の語学学校は有料
72	スペイン	ア・コルーニャ大学	3	スペイン語 B1、英語プログラムは TOEFL iBT80	9月	6月15日	
73	スロベニア	リュブリャナ大学	1	iBT79 以上、IELTS6.0 以上	10月		
74	チェコ	オストラバ工科大学	4	チェコ語もしくは TOEFL iBT62 /IELTS5.0 (ただし推薦には原則学内派遣基準スコアが必要)	9月	4月30日	
75	チェコ	ズリーン・トマスバタ大学	2	TOEFL iBT65 /IELTS5.0 ((ただし推薦には原則チェコ語もしくは学内派遣基準スコアが必要)	9月	6月1日	
76	ドイツ	オスナブリュック大学	2	TOEFL iBT65 /IELTS5.0 ((ただし推薦には原則ドイツ語(Intermediate advanced)もしくは学内派遣基準スコアが必要)	10月	7月1日	英語プログラム有 Preparatory courses 有(9月中旬から3週間) 交換留学生向け奨学金有
77	ドイツ	エルフルト大学	2	ドイツ語(Intermediate advanced) 1年間はドイツ語を履修している事	10月	6月15日	
78	ドイツ	アウグスブルク応用科学大学	2	ドイツ語もしくは英語 (TOEFL iBT72/IELTS6.0	10月		
79	ハンガリー	セントイシュトヴァーン大学	1	TOEFL iBT65 /IELTS6.0 (ただし推薦には原則学内派遣基準スコアが必要)	9月	6月15日	英語で受講できる科目多数有
80	フィンランド	オウル大学	3	iBT82 以上	9月		
81	フランス	リヨン第三大学	4	TOEFL iBT80 /IELTS6.5 以上。フランス語検定2級以上(必要に応じてフランス語履修有)。英語プログラムへの推薦は原則学内派遣基準スコアが必要。	9月	4月30日	第二外国語で仏語課程、語学学校でのコース履修、上達度も考慮する。英語プログラム有。フランス語クラスは週に一回のみ。

	国名	協定大学名	交換 人数	要件	セメスタ ー開始月	申請 締切	備考
82	フランス	パリ東大学クレテ イユ校	2	フランス語検定2級以上（必要に 応じてフランス語履修有）。英語プ ログラムへの推薦は原則学内派遣 基準スコアが必要。	9月	5月31日	第二外国語で仏語課 程、語学学校でのコ ース履修、上達度も 考慮する。
83	フランス	グルノーブル第三 大学	3	フランス語もしくは英語プログラ ムへの推薦は原則学内派遣基準ス コアが必要。	9月	4月30日	第二外国語で仏語課 程、語学学校でのコ ース履修、上達度も 考慮する。
84	フランス	国立セラミックス 工業大学	1	フランス語	9月		申請希望者は要相談
85	フランス	ポワチ工科大学	1	フランス語	9月		申請希望者は要相談
86	フランス	ル・アーブル大学	1		9月		
87	ベルギー	リエージュ州大学 校	2	TOEFL iBT65/IELTS5.0以上。 フランス語もしくは英語 B1 程度 （ただし推薦は原則学内派遣基準 スコアが必要。）	9月	5月15日	英語プログラムでの 受入は、 International Business Program.
88	ポーランド	カジミエシュヴィ エルギ大学	1	英語（TOEFL iBT82以上）もしくは フランス語	10月		
89	マルタ共和 国	マルタ大学	1		9月		
90	タイ	泰日工業大学経営 学部	1	経営学部提携校	5月		
91	イギリス	エクセター大学ビ ジネススクール	3	経営学部提携校	9月	4月30日	Business school, English history, Law, Psychology は TOEFL iBT 100/IELTS7.0, その 他は 90/6.5

7) 経営学部派遣学生 留学体験記-1

派遣先：ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学

派遣期間：2016/9～2017/6



1. なぜカフォスカリ大学に交換留学しようと思ったか？

経営学の英語の授業が豊富だった、またイタリアの料理をはじめイタリアが好きだったからです。英語圏での留学希望だと英国や米国の大学に目がいきますが、その他の地域でも英語で学べるところがあります。ここカフォスカリ大学もその一つです。

2. 留学までの準備として、語学の勉強として取り組んだこと

英語とイタリア語の両言語を独学しました。英語は TOEFL 対策がメインとなり、イタリア語は簡単な日常会話をできるようにと便利なフレーズ集や簡単な文法の教科書を読みこみました。TOEFL はスピーキングとライティングといったアウトプットの分野が苦手だったので特に時間をかけました。スピーキングは Skype を使って英語のネイティブと話せるウェブサービス、例えば Italki やレアジョブを利用して積極的に英語を話す時間を作りました。またライティングも自動で自分の作文を添削してくれる Write&Improve というサービスを使い作文の質を高めていきました。作文のほうのサービスは無料ですようできるので特にお勧めです

3. 交換留学で一番嬉しかったこと：

多くの出会いに恵まれたことです。帰国後も連絡を取り続けている友人や、卒論研究に必要なインターンシップをさせてくれた経営者の方など、数えればきりがありません。余談ですがイタリア人はほめ上手です。私が現地でイタリア語の勉強を真剣に学び、今も続けているのはイタリア人にほめられてその気になったからです。こうした出会いや何気ない出来事がいまもよく覚えています。

4. 一番辛かったこと：

留学と就活を同時におこなったことです。幸い私の場合は帰国後にスムーズに内定をいただけたのですが、それでももっと事前に準備をしておくべきだったと反省しています。例えば私のように帰国直後に面接などをする場合は、テストや面接対策の本や会社四季報などを持っていったほうが良いでしょう。

経営学部派遣学生 留学体験記-2

派遣先：オーストラリア国立大学

派遣期間：2016年2月～2016年11月



1. なぜオーストラリア国立大学に交換留学しようと思ったか？

留学の目的が、英語力の向上とビジネスについてもっと深く学ぶことの2つでした。そのため、英語圏であるオーストラリアを選び、その中でも特に高いレベルの教育を国際色豊かな環境で受けられるオーストラリア国立大学を選択しました。

2. 留学までの準備として、語学の勉強として取り組んだこと

TOEFL iBTで80点を取るために、まずは大学1年次の夏休みに大学のTOEFL講座に参加しました。その後は自分でテキストを買ったり、英語のニュースを見たり、スカイプで英会話レッスンを受講したりなど試行錯誤を繰り返しながらなんとか必要要件をクリアしました。特に、リスニングが苦手だったので、テキストの他、YouTubeにあった練習問題などを活用しました。

3. 交換留学で一番嬉しかったこと：

様々な文化に触れ、多くの人と知り合えたことです。大学にはオーストラリア人のみならず各国からの留学生も多かったので、そういった友人たちとともに大変さを共有しながら一緒に勉強したことや、様々な場所に旅行に行くことができたのはとても良い思い出です。留学を通し、異文化に戸惑いながらも理解を深め、視野を広げることができたと思います。

4. 一番辛かったこと：

日本の大学と異なり、ディスカッションやプレゼンの機会が多く、そういった授業のスタイルに慣れるのに時間がかかりました。留学生だからといって手加減されず、しっかり自分の意見を言うことができないと、教授や周りの学生からまったく相手にされません。時間が経つごとに慣れていきましたが、最初は本当に苦労しました。

また、課題も非常に多く、しっかり勉強時間をとらないと、授業についていくのが大変でした。

経営学部派遣学生 留学体験記-3

派遣先： University of East Anglia

派遣期間： 2016/07- 2017/08



1. なぜイーストアングリア大学に交換留学しようと思ったか？

以下の研究に取り組むうえで、渡航先の大学が協定校の中で最も評価が高かったため。(世界ランキング 15 位)

- ・国際開発学における開発と政治/教育との関係性の研究
- ・開発学領域での information technology や artificial intelligence の活動度の調査とそれらの活用方法の研究

・国際開発学における開発と政治/教育との関係性の研究：途上国での開発と現地の政治と教育は密接に関係していると考えられる。私は横浜国立大学では会計学を専攻しており、また本学にはそれらについて学べる授業が多くないか焦点をあてた授業が存在しないため、留学先の大学にて関係する授業を履修したいと考えた。

・開発学領域での information technology や artificial intelligence の活動度の調査とそれらの活用方法の研究：今後、開発学を発展させるためには、今までの研究や活動に加え IT や AI の利用が不可欠になると考えている。残念ながら留学先の大学にも私が知りうる限りでは開発学と IT や AI を組み合わせさせて取り組んでいる授業が開校されていないが、留学先の大学には多くの開発学研究者と学生が存在するため、横間国立大学で活動していたように現地の学生たちともグループを作るとともに勉強したいと考えた。

2. 留学までの準備として、語学の勉強として取り組んだこと

留学するために求められる語学試験の点数を獲得するための勉強や、渡航先での留学計画を推敲するうえで互いに切磋琢磨できる団体として、「本気になりたい人が本気になれる場」をコンセプトとする団体 EnII (えんつー：Enable×English) を立ち上げた。授業期間中の空き時間や放課後はもちろん、夏季休業中は朝 8 時から夜 10 時までメンバーが集まり、学習を行った。Reading や Listening は問題ごとに本文の中身や問題をいかに効率的に解くかについて話し合い、Speaking や Writing が互いに添削しあって学習を行った。そのため、効果的かつ効率的に学習を進めることができた。

3. 交換留学で一番嬉しかったこと： 語学力や学習分野の専門的知識について学べたことはもちろんのこと、それ以上に人間や言語を使ったコミュニケーションについて考え、実際に体感できたことが留学を通して最もうれしかったことだ。例えば、普段の生活では母国語である日本語を手足の様に扱って、他者と意思疎通を図ることができていたように感じていたが、留学を通じて言葉の意味が通じていることと意図が通じていることの違いを身をもって感じた。言葉の意味が通じるということは話者の発している単語や文法の意味を理解し、その発話内容が何を指しているのかを表面的に理解する状態を指している。一方で、意図が通じるということとは、単に情報の受け手が言語を理解できる（した気になる）のではなく、情報の発信者がその内容を発した理由やその背景にある考えを受け入れることができる状態を指している。留学中の使用言語は英語であったが、コミュニケーションを取るにあたって障害となったのはその言語の理解可能性の壁(意味)よりも、むしろ英語を介して意思疎通を図ろうとする両者の価値観の違いによる発信意図の違いによるところであった。特にフラットメイトとは(1フラットを8人で共有していた。アジア出身は私だけで、イギリスや他のヨーロッパ諸国の出身者が多かった)、共同生活を送る中で同じ文法や単語を扱って会話をしても、その伝え方や表現の仕方に違和感を覚えることが多かった。これは決して円満に生活できたとかそうでなかったという話ではなく(実際には本当によい友人たちに恵まれたため、共同生活はとても良い記憶として残っている)、例えば形式的に言えば、人と意思を疎通する際に私の価値観として自分の意見を伝える前にまずは相手が何を考えているのかを理解することに努めるのに対し、一方で相手はまずは自分の考えを主張することに重きを置いていたため、私の話を遮ってでも意思を伝えようとするなどのコミュニケーション手法の違いを主にさせている。もちろんこれは和を重んじる文化で育った私と、個々人の権利は自分で守るのが当たり前である文化(ゆえに自己主張を大切にす価値観)で育った人との国の違いともみることができるが、細部にまで目を凝らしてみれば、これは日本での生活でも同じ構造をしていることが見て取れる。一見すると同じ日本人として言葉のキャッチボールはできているように見えても、人それぞれに言葉の使い分けの違い(それぞれの言葉にどれほどの重みや思いを付けて話しているのか)は千差万別である。渡航をする前から、人の価値観は育った環境によって大きく異なることは感じていたが、留学経験を通して、自由に扱えないことでより着目するようになった言語について、その価値観の違いは大きくそれぞれの言葉に表れるということを感じるとともに、その意味で言葉を介して意思を疎通することの難易度の高さ、特に異なる環境で生まれ育った人同士が言葉の違い(言語の違いではなく、1つ1つの言葉に込められた意図の違い)を超えて理解し合うことの難しさを感じた。同時に、その違いを受け入れるという捉え方についても育まれたように思う。福田恆存の絶望からの出発という言葉には非常に感銘を受けていたが、互いに異なることが前提の海外での生活を通してそれが単なる理解から体の中に落とし込まれたように感じる。

4. 一番辛かったこと： 留学に必要なスコアを満たして渡航したとはいえ、ネイティブとの会話が完璧に理解でき、また自身の思考を100%スムーズに表現できるレベルではなかったため、ディスカッションの時間で毎回悔しい思いをしたことだ。同じテーマについて日本語で議論すればより正確に自分の考えを伝え、相手の意見をくみ取り議論を進められるのに、英語でそれができないことの自分の英語力の足りなさは留学を終えても、不満が残らないことはなかった。

経営学部派遣学生 留学体験記-4

派遣先： オストラバ工科大学（チェコ共和国）

派遣期間： 2016年9月～2017年7月



1. なぜオストラバ工科大学に交換留学しようと思ったか？

①東欧文化を知りたかったから。

馴染みのない土地で新しい体験をしたいと考えたからです。

②日本人が全くいない環境だったから。

日本語を全く使わず生活していくことで、大きく成長できると考えたからです。

2. 留学までの準備として、語学の勉強として取り組んだこと

①大学の海外研修プログラム

私は交換留学の前に2度海外研修に参加しました。3年生の春休みに香港の香港理工大学に1か月間と、夏休みに韓国の釜慶国立大学に1週間通い、英語でクラスを受講しておりました。これらの経験により、交換留学中での授業風景をイメージすることができました。

②交換留学生のチューター

私は大学に来るアメリカと中国の交換留学生をサポートするチューターを合計1年以上担当しておりました。これによって英語を実践的に使うことができるようになり、日常生活の中で英語を学ぶ機会を増やすことができました。

3. 交換留学で一番嬉しかったこと：視野を広げて成長できたこと。

様々なことに積極的に挑戦した1年間でした。たとえば大学のサッカーリーグへ所属したり、日本語教師を担当したり、地元企業の営業の手伝いをしたりといった経験です。これらの経験を通して、自分が見る世界が大きく広がり、様々な人々と出会い、困難を乗り越えていくことで、人間として大きく成長できました。

4. 一番辛かったこと：文化の違い。

言語や人種、生活習慣、文化などあらゆる場面で文化差異を感じていました。特に渡航した直後はこれがストレスとなっていたことがありましたが、ある程度時間が経つと慣れていき、文化差異による辛い経験も新たな学びとしてポジティブに受け止めることができました。

8) 経営学部主催英語討論（ベトナム、豪州）

2017年度より、経営学部では英語討論（ベトナム）と英語討論（豪州）を単位化し、開始しました。修了者は、海外研修単位として2単位が付与されます。

研修目的：英語による経営学の講義を受講、プレゼン発表、現地企業訪問、現地学生との交流等を通じ本格的なビジネス英語を学び、実践的な英語の運用能力を身につける。

実施場所：①英語討論（ベトナム）ベトナム国家大学ハノイ校 経済経営大学（VNU-UEB）

②英語討論（豪州）：Griffith University(オーストラリア、クィーンズランド州の公立大学)

応募資格：横浜国立大学の正規課程に在籍する学生。

基礎的な英語力を有する者（プログラムは英語で実施）。

必ず海外旅行保険に加入し、航空券の手配等を自分で行う事ができること。

2017年度実施例：

英語討論（ベトナム）2017年9月24日（日）～ 10月1日（日）8日間

現地学生と交流をしながら、ベトナム社会、企業、文化等への理解を深める事ができました。



英語討論（豪州）2018年2月24日（土）～ 3月10日（日）15日間

グリフィス大学における YNU Specialized Business English プログラムを通じ、語学力、オーストラリア社会・文化・ビジネス等への理解を深める事ができました。



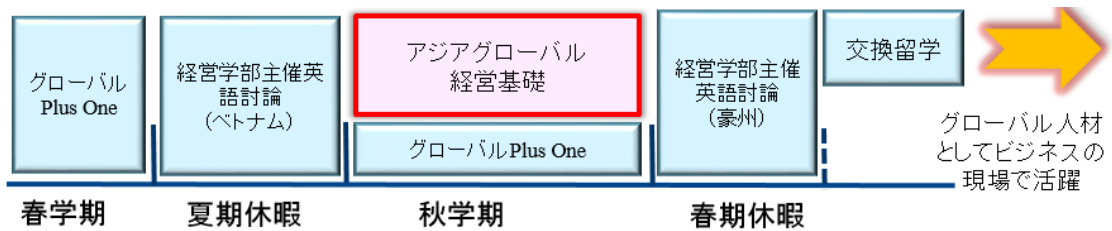
9) 交換留学質問コーナー

質問-1：どうすれば TOEFL のスコアを Up する事ができるのですか？

回答-1：語学のスコアを伸ばす為、経営学部では各種語学研修プログラムを提供しています。

- 経営学部英語討論（ベトナム、豪州）
- チュータープログラム
- 英語開講講座（アジアグローバル経営基礎、国際交流科目等）
- JOY 生とのトークタイム

<イメージ>



質問-2：交換留学をしたいけど、就職活動に影響はありませんか？

回答-2：留学先や期間に合わせて、様々な交換留学をプランする事が可能です。

	1年次		2年次		3年次		4年次		5年次	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
	4~9月	10~3月	4~9月	10~3月	4~9月	10~3月	4~9月	10~3月	4~9月	10~3月
A			2月→12月 オセアニア・韓国				就職活動		卒業	
B				8~9月→6月 欧米・アジア			就職活動		卒業	
C					2月→12月 オセアニア・韓国		就職活動		卒業	
D					8~9月→6月 欧米・アジア		就職活動		卒業	
E					8~9月→6月 欧米・アジア		就職活動		卒業	
F							2月→12月 オセアニア・韓国		就職活動 卒業	

■ 一次募集 ■ 二次募集

質問-3：現地での生活費を捻出できるか心配です。

回答-3：日本学生支援機構（JASSO）による留学生交流支援制度（短期派遣）奨学金に申し込みを行う事ができます。（※応募年度によって状況は変わります。）

- **JASSOが実施している給付型奨学金制度**
月額¥6万(アジア地区)
¥8万(他の地域)
支給期間:半年～1年

- **本学の採択人数:全学で約50名枠あり**
成績・国籍・保護者の収入等の要件有り

JASSOで定められた成績評価係数が2.30以上であること。

その他、海外協定大学への交換留学（派遣）を対象とするいくつかの奨学金があります。

- ✓ 日本学生支援機構（JASSO）による第二種奨学金（短期留学）（貸与型）
- ✓ 横浜国立大学奨学金（横浜国立大学学術交流奨励事業（交換留学派遣生奨学金））
交換留学派遣生を対象として、横浜国立大学から一人10万円（1回限り）を上限とする奨学金を支給しています。支給人数は年度により異なりますが、毎年30名に支給する予定です。
- ✓ 官民協働海外留学支援制度「トビタテ！留学 JAPAN」日本代表プログラム奨学金
平成26年度から開始された、文部科学省初の官民協働プロジェクトによる留学支援で、民間からの寄附により、日本代表として海外へ派遣するプログラムです。

10) スケジュール全体像 (※応募年度によって変わります)

時期	イベント
5/14 (月) ~5/18 (金)	インターナショナルデー@中央図書館メディアホール
5/15 (火)	留学説明会@中央図書館メディアホール
9月	経営学部主催「ベトナム英語討論」(予定)
10月~	経営学部英語授業「アジアグローバル経営基礎」開始
10月中旬	経営学部主催交換留学説明会&帰国報告会
10月中旬~11月	交換留学派遣生の募集(国際教育センター等で掲示) ※2017年度は10/13~11/1 11amが応募期間だった。
11月中旬~下旬	経営学部による面接等の選考
1月下旬	交換留学派遣候補生の決定
2月以降 (※派遣大により異なる)	派遣先大学への入学願書の提出
2月末~3月	経営学部主催「豪州英語討論」(予定)

5月	交換留学三次募集 (※一次、二次で人数に満たず、願書提出期限に間に合う協定校が対象)
----	---